

清田中央地区町内会連合会

18町内会の横顔

南連絡協議会

3, 257世帯

町内会名	世帯数
メイユール菟寿町内会	56
清田西町町内会	340
清田団地元町町内会	535
清田団地北町町内会	203
清田中央町内会	210
清田南町町内会	235
清田緑町内会	415
清田南中央町内会	389
清田高台町内会	324
清田東町町内会	320
しんえい西自治会	230

東連絡協議会

2, 610世帯

町内会名	世帯数
清田第2町内会	310
清田第3町内会	497
清田第4町内会	265
清田第5町内会	395
清田ファミリータウン町内会	375
清田自治会	120
清田南若葉会	48



清田第2町内会

会長 山下 紀雄
 副会長 五島 繁
 〃 高田 秀一
 〃 嶋田 章

設立年月日・昭和58年4月1日

世帯数・(設立時) 241戸、(現在) 310戸

歴代会長名・五十嵐 渉、桐生重春、滝永一夫、山下紀雄

清田第2町内会は、旧清田町内会の地域拡張に伴い町内会範囲の拡大に依り、町内会活動が何かと不便になったため、分町を決定し新区域名を清田第1町内会(旧町内会)から清田第2町内会以下第4町内会まで4町内会に分町し、当町内会を清田第2町内会と呼称することになりました。

当町内会は、設立以来、「健康で明るい住み良い街づくり」を基本として、町内会員の親睦を深めることを中心に各種活動をしています。

お年寄りを結集して「清田中央クラブ」を設立し町内会として、その活動を積極的に援助しております。七夕祭りには子供提灯行列で町内会を一周し、花火大会を開催してまいりましたが子供の参加が多い年は230名、提灯が不足する状況でしたが、少子化時代の流れによりやむなく中断となりました。しかし、秋の行楽旅行は、年々参加者増となり旅行先も多数の候補地より会員の希望多数で選考しております。

また、新春親子ボウリング大会は、毎年百数十名の参加で十数年間に渡り継続行事として実施されております。



清田第3町内会

会長 松原 隆一
 副会長 横山 武士
 〃 泉 守之

設立年月日・昭和58年4月1日

世帯数・(設立時) 413戸、(現在) 499戸

歴代会長名・岡田文教、遊佐国男、水谷愼一、飯間 昇、

松原隆一

町内会の業務は、多岐に渡り益々量が増えています。

当町内会は、顧問2名、相談役1名、会長1名、副会長2名、監事2名、総務部4名、会計部3名、防犯防災交通安全部5名(街路灯組合長含む)、環境衛生部3名、青少年育成部4名、女性部5名、体育部3名、広報部6名、福祉厚生部3名、班が33班、これらの役員、班長が中心に事業の役割り分担に基づき町内の発展と親睦を図り、福祉の増進につとめ、住み良い街づくりに一生懸命努力しております。

また、少子、高齢化が進行するなかで、次世代を担う子供達が健やかに育つ環境や、町内の一人ひとりが安心して暮らしていただける街を作ること、これからの大きな課題です。

町内会としても、このことを十分に認識した上でコミュニケーション活動に積極的に取り組んで行きたいと思っております。



清田第4町内会

会長 黒澤 勝昭
 副会長 橋本 健
 〃 清野 紀彦
 〃 奥田 憲治

設立年月日・昭和58年4月1日

世帯数・(設立時) 118戸、(現在) 265戸

歴代会長名・土肥栄四郎、菊地 力、岡田一馬、北垣尊男、

玉野源四郎、黒澤勝昭

昨年8月私ども町内会にも「福祉推進委員会」が発足した。高齢化社会は介護を必要とする高齢者に、温かい手を差し伸べる助け合い社会を創ることである。

現役世代は社会の第一線で多忙を極めている。したがって、体力に余力のある高齢者から青少年に至るまでの、全員参加型の福祉のまちづくりが期待されることになっている。社会経験豊かな高齢者は相談員の役割を分担し、若い中学、高校生には除雪などのボランティア活動に参加してもらうことは、生きた教育でもあり、素晴らしいことである。

また、私ども町内会は、西北が緑に囲まれ、東南にはトンネル、ポイントンネ川の清い流れがある。もうすぐ20周年を迎えるが記念行事にトンネル、ポイントンネ川左岸に桜の苗木を植え、清田地区の桜並木の名所とすることができれば素晴らしい環境のまちになると思っている。会員の協力を得て実現したいと考えている。町内会活動の原点はここに住んでいて良かったと思えるようなまちづくりにあると信じている。



清田第5町内会

会長 西部 慎三
 副会長 刑部 紀元
 〃 浅田 隆
 〃 松本 保

設立年月日・平成元年10月29日

世帯数・(設立時) 45戸、(現在) 395戸

歴代会長名・土肥正豊、土肥 勇、西部慎三

清田第5町内会は平成元年10月29日にわずか45戸で発足し、平成12年をもって10周年を迎えました。本年1月1日付で記念誌「ふるさとづくり10年」を発行、町内全戸に配布しました。比較的新しいにもかかわらず飛躍的に発展し、現在戸数約395戸、人口約1500人、平均年齢約33歳という、きわめて若々しい町内会であります。

発足当初より子供の数が多かったため町内会では、ふるさととしての良い思い出を持つため、「七夕まつり」「ラジオ体操」「雪んこ大会」の催しや、町内一斉清掃への参加を促すなど、積極的に取り組んできました。その一方、70歳以上のお年寄りも数が増え、現在約70名に達したものと推定されます。これからはシルバー人口に対する対応も必須と思われまますので、平成12年4月を目標に組織を立ち上げるべく、既に「清田GOGOクラブ」(仮称)の発足に向け着々と準備を整えています。

町内会活動の拠点である会館を取得するため会員全体で努力中ですが、当町内会の未来は洋々たるものと考えます。



清田ファミリータウン町内会

会長 青木 一夫
副会長 曾我 利男
〃 明石 貞一
〃 熊谷 文勝

設立年月日・昭和63年3月27日

世帯数・(設立時) 69戸、(現在) 375戸

歴代会長名・岩瀬義一、青木一夫

ファミリータウンは、札幌圏都市計画清田東第1地区として、地区計画(街づくりのルール)が定められ、町内会員全員の理解と努力により、環境美化に努め、道路沿いの緑化を図り、潤いのある美しい街づくりを進めている。

当町内会は、親子二世代がいつまでも一緒に、仲良く、助け合って、暮らせる街との思いで名付けられました。

冬は、町内会館で二世代によるカルタ、百人一首大会、麻雀大会。夏は、親子ソフトボール大会、また、町内中央にあるスズメ公園でのジンギスカンパーティーでは、多くの家族が集まり約100キロの肉がまたたく間に消えます。

町内会独自で行う盆踊り大会は、悠遊白寿会の夜店があり町内の子供太鼓の打ち手が毎年10数人参加するので櫓の上は大さわぎ、他の町内からの踊りの参加者も数多く、毎年2日間で合計700人のにぎわいになっております。

町内会としては、少子化と高齢化に向い、町内会員みなさんの協力を頂き、より一層健康で明るく、緑豊かで、心安らぐ住み良い街にしていきたいと願っております。



清田自治会

会長 山中 勝之
副会長 菅野 良三
〃 佐々木陸子

設立年月日・昭和58年4月1日

世帯数・(設立時) 80戸、(現在) 120戸

歴代会長名・大川 忍、加瀬仁三、山田 修、田村順平、

山中勝之

自治会は、設立時より会員の親睦と和を基本とした活動をしております。中でも女性部による親睦会、青少年育成部による子供会等大きな活動ではありませんが大切に続けて参りたいと考えております。

今後は、何事においても役員中心ではなく、会員の意見を尊重し、全会員の協力の基に明るく、安心した生活が送れる環境と、近隣町内会の方々との明るい付き合いを目標としていきたいと願っております。そして、今後共、町連の皆様のご指導の程よろしくお願い致します。



清田南若葉会

会長 齊藤 正敏
副会長 谷川 基

設立年月日・昭和59年4月1日

世帯数・(設立時) 50戸、(現在) 48戸

歴代会長名・岩野 武、佐々木繁雄、松本順一、森田秀弘、

齊藤正敏

清田南若葉会は、現在48世帯の小さな町内会ですが、様々な活動に於てがんばっています。

町内会としては、体育部、また、福祉の町推進センター等の取組に力を入れてます。女性部も盆踊り、また、様々な役員活動等にも協力して頂いております。ラジオ体操は、子供達の人数が年々少なくなつたので今はやっておりません。

今後、町内会としては、高齢化による老人世帯が多くなつて来ているので、各役員力を合わせて福祉厚生に力を入れて行きたいと思っております。

最後にいろいろなレクリエーション等も考えているので、参加される方が多くなつてくれるのを期待しています。



メイユール菟寿町内会

会長 大藤 喜一
副会長 八代 宣彦

設立年月日・平成10年4月1日

世帯数・(設立時) 48戸、(現在) 56戸

歴代会長名・大藤喜一

地域的にマンションが必要に成つて来ました。

平成4年より建設、現在に至る。

町内会名は、住み良い緑のある7条3丁目の町内で、菟を略文で付けております。7条3丁目、菟寿とした。

会館建設には、集りやすい所、会員の方々が集つて話を出来る所として、平成10年10月に竣工した。

基本方針は、清田中央地区町内会連合会との一層の連携を努める。花壇設営、交通安全、事故防止のための啓蒙、幼児小学生のレクリエーション、花火大会、清田夏まつり協力と参加、メイユール菟寿地内除排雪作業等です。

自治会集会所は、自治会、その他の自治以外にも使用しております。

10周年と共に、益々発展を皆様の力添えをお願い致します。

清田西町町内会



会 長 金子 正一
副会長 高野不二夫
〃 安田 由成
〃 赤堀 孝

設立年月日・昭和53年7月1日

世 帯 数・(設立時) 247戸、(現在) 340戸

歴代会長名・梅田博征、大江俊弼、藤井三設、佐久間正一、

野口一治、金子正一

当時の清田団地町内会より最初に分離独立し、町名を清田団地西町4丁目町内会として発足。その後二度町名を変更して現在の「清田西町町内会」になる。

設立当時、一番必要な活動拠点はやはり集会所で、最初は廃バス、次に昭和54年に古校舎のプレハブ材を払受けて町民の奉仕で建設したのが最初で、一度現在の会館の所に移転するも老朽化と地主からの土地買取りを決め新会館建設に踏み切り、現在の新会館を平成8年に完成させた。

町民の深い理解と協力結束の賜で、今後新会館を中心に町内住民の親睦と福利の増進を図っていきたい。

町内会の活動については、各部の考えを活発に反映する内容になっており、夏祭り盆踊りは盛大に行われる。グラウンドゴルフも老若男女に喜ばれ盛会に行われている。子供会もキャンプ、お泊り会、餅つき、クリスマス会等活発に実施している。今後の期待は、高齢化の中で早く世代交替ができ、若青年が積極的に町内会活動に参加できる機運を作っていきたい。

清田団地元町町内会



会 長 山田幸四郎
副会長 吉野 博
〃 佐々木三男
〃 渡辺 民男
〃 加藤 隆弘

設立年月日・昭和58年4月1日

世 帯 数・(設立時) 233戸、(現在) 535戸

歴代会長名・北澤 治、細海誠男、溝口國高、山田幸四郎

清田団地元町町内会名の由来は、清田団地発祥の地として町内会設立準備委員会で、元町の名称が採択された。

町内会の区域は、既に宅地化されていた清田7条2丁目を主体とし、調整区域であった現7条8条9条の各1丁目の広大な地域に点在した居住者を包含して構成された。その後昭和63年設立の清田南、平成2年設立の清田元町、両土地区画整理組合によって、施工面積19ha、計画戸数575戸(当町内区域は525戸)を宅地造成し、おおむね60%が入居し、なお210数戸の入居地がある。

清武館を平成6年2月に大改修を行い、町内会や老人クラブ等の活動拠点として活用されている。

町内会設立と同時期に、つくしんぼ子供会も発足し、現在も約100名を越える会員が活動をつづけている。また平成9年に老人クラブ、元町ゆうあいクラブが発足し、70余名の会員は親睦行事を主体に更に活動の拡大を期待されている。

当町内会は盆踊り、敬老会、新年会の三大大行事を主軸に、増加する会員と共に、町内会活動を推進していきます。



清田団地北町内会

会長 鈴木 亨
 副会長 菊池 成徳
 〃 森岩 武志
 〃 竹野 紀昭

設立年月日・昭和58年4月12日

世帯数・(設立時) 161戸

歴代会長名・富井敏夫、熊谷寿久、佐藤秀士、春木政明、

小鷹菊枝、松村 明、鈴木 亨

旧清田団地町内会発展的解消を承けてそれまでの「北2区」を独立組織とすることになったが、独自性ととも地域町内との連携を重視する意味で名称に「清田団地」を付けた。

そもそもこの区域は他に先駆けて昭和38年に移住が始まり、自然発生的親和団体をなしていたが、会員増に伴って「住民自治」の意識が高まり、同41年に旧町内会に併合。時にわが北2区は僅かに21世帯。開発は南へ西へと広がり、位置的に最北となる。通勤、防災、独居老人など取り組む問題は多岐にわたったが、なかでも子供会の活動は際立っていて、キャンプ、運動会、花火、盆踊りなどを続けたけれども、少子化の波を受けて同62・63年度には解消せざるをえなくなつた。

代って清寿会の名において高齢者の活動が活発化し、さらなる高まりを見せている。総合会館が近いという地の利を活かして大いに利用させていただきながら「私たち自身の町」をモットーに助け合う町づくりを目指している。



清田中央町内会

会長 雨宮 稔
 副会長 太田 国正
 〃 竹内 博美
 〃 小松 一憲

設立年月日・昭和59年4月1日

世帯数・(設立時) 182戸、(現在) 210戸

町内会名・清田団地町内会北1区(昭和59年3月迄)

清田中央町内会(昭和59年4月より)

歴代会長名・雨宮 稔

設立時、子供達の遊ぶ広場が欲しいとの声が多い。空地になつている地主さんと交渉、2ヶ所の広場を作る。その後上水道が市に移管されたのを機に下水道移管の運動を当町内より市下水道局に起す。それに依り全町内に広がり道路の市移管そして清田中央総合会館建設に至る。59年以前の会長及び区長は10数名にもおぼり、そのご苦勞を足場に現在に至るものと深く感謝している。以後は子供会や福利に力を入れ小さい乍ら市公園も得た。又街灯の多くを市に移管すると共に増設に力を入れ明るい町内会になった。今後に思う事は、高齢化時代に向け排雪の問題が重要な課題の一つである。除排雪不備による事故が現在まで起きていないのが幸いである。町内の会報にて会員の意識改革を図り、除排雪をセットに考えられるよう市に対し運動を起したい。これらは全て役員および班長の協力に依るものと私事乍ら深く感謝している。

清田南町町内会



会長 山越 幸民
副会長 笠井 謙一

天野 忠任
堀田 栄一

設立年月日・昭和57年4月1日

世帯数・(設立時) 198戸、(現在) 235戸

歴代会長名・山越幸民、吉村信治、山越幸民

昭和40年はじめ、清田の最南端地区も宅地造成がはじまり、昭和46年9月、厚生年金住宅60戸が完成した。その頃より、恵まれた自然環境を求めて住宅建設がすすんだ。

その後、人口増加にともない町内会設立の気運が高まり、昭和57年4月「南町町内会」が発足した。

以来18年、初代会長であり、現会長でもある、山越会長のもと、会員相互の親睦と協力の中で、明るく住みやすい地域づくりがすすめられている。

数ある行事の中で、「南町大運動祭」は会発足以来伝統を誇るもので、昨年は「第17回祭」を迎え200名余りの家族が集まり熱戦がくりひろげられた。その成功のかぎは、会場設営、競技運営にわたり、執行部、各部役員、幹事、班長さん方はじめ各会員の団結と協力する姿にあり、それが本会の集約した姿を表しているものと思う。

清田みなさん会(南町老人クラブ)は発足19年、会員は63名を数え、会員相互の親睦と健康増進のため活発な活動を続けている。

清田緑町町内会



会長 菅野 常明
副会長 藤井 充美

鈴木 敏隆
石井 洋

設立年月日・昭和58年4月1日

世帯数・(設立時) 353戸、(現在) 412戸

歴代会長名・東 國豊、守屋保夫、斉藤静子、菅野常明

昭和58年4月から単独の町内会として発足した当時は、町内会名も清田南1町内会であったが、翌年の4月に清田緑小学が開校しそれに因んで町内会名も現在の「清田緑町内会」と改名する。町内会館の建設については土地の問題で苦労をした様であります。最終的には今は亡き北澤 治氏が土地を札幌市に提供する形で町内会館の敷地の決着をみる。故北澤 治氏からは、昭和46年にも土地を市に提供して頂いたお蔭で今の清田緑公園が出来ているのです。単町として発足した当時は、町内会としての会則もなくまた、現在でもある各区の区分や班の構成、そして町内会の街灯等の調査、町内会費額の決定やその徴収の仕方等、初代の会長や副会長は大変な苦労をされた訳です。町内会館の建設に当っては町内会固有の会館の必要性からその土地の確保、資金の調達、町内会員の協力をはじめ、町内有志の方々の方々の篤志やその他町内会外の方々の方々の絶大な支援によって町内会館の落成を昭和60年5月に果す事ができました。今後の町内会の在り方として福祉の面に対応できる町内会となる事を願っています。



清田南中央町内会

会長 鹿森 品
 副会長 渡辺 貞俊
 〃 奥山 育男
 〃 佐藤 菊枝

設立年月日・昭和58年4月

世帯数・(設立時) 319戸、(現在) 376戸

歴代会長名・杉本勝昭、鹿森 品

町内会名の由来：「清田団地町内会」が、昭和58年4月に分割し、3町内会としてそれぞれ独立した際、南町であることと、以前2区であったことを勘案し「清田南中央町内会」と命名した。

会館建設時の思い出：以前は廃車バスを公園の片隅に置き、集会の場としてきたが、平成2年に会館建設委員会を発足し準備に取りかかった。敷地の確保では札幌市水道局から借用し平成4年4月に第1期工事を完成した。当時は水道もなく不便をした思い出があるが、現在は給排水ガス完備の会館として年間延べ300回も利用されている。

会の特色：夏祭りでは「友和と会員参加」をモットーに、カラオケ、子供みこし、老人会の踊りなど町内上げて取り組んでいる。スポーツ関係では、少年・壮年野球、ソフトボールなど各種大会に参加して数回の優勝を果たす活躍をしている。

今後の目標や期待：クリンタウンの定着と福祉推進の拡充。今後も「夏祭り」を継続してお互い連帯意識を高めて、「住み良い町造り」に努めたい。



清田高台町内会

会長 加賀谷正光
 副会長 杉田 伸正
 〃 田之岡良造
 〃 三上 明

設立年月日・昭和58年4月

世帯数・(設立時) 267戸、(現在) 322戸

歴代会長名・稲川剛史、咲間光雄、加賀谷正光

町内会15年の歩み

昭和41年、拓住建設株が造成。小高い丘陵地だったことから高台と呼ばれていた。昭和43年に2戸、44年に13戸、45年に24戸、46年に22戸が入植、この年それ迄の清田団地町内会東1区から独立、同町内会高台区となり、58年高台町内会として独立する。

町内会の事業と信条

現在、町内会の5大事業として毎年度の事を行っている。

1. 観桜会(5月)
2. 夏祭り(8月)
3. 敬老会(9月)
4. グランドゴルフ大会(9月)
5. 排雪(2月)

高台区の時代から現在迄、町内会が最も力を入れているのは「広報活動」高台だより発行である。51年～58年、高台だより1号～75号を発行。59年～12年4月、1号～209号を発行。つまり町内会の伝統的信条は「町内会としての考え、予算・事業を全会員に知ってもらい、その上で協力をお願いし「みんなの力で明るい街をつくろう」である。



清田東町町内会

会長 白井 敏勝
 副会長 細田 禮三
 〃 黒田 隆樹
 〃 櫻坂 純子

設立年月日・昭和58年4月21日

世帯数・(設立時) 307戸、(現在) 337戸

歴代会長名・川崎末吉、中内春松、白井敏勝

町内会名の由来 清田団地町内会が発展的に解散、分町することになり、旧東1区、東2区を合併し団地東に所在することより清田団地東町町内会の名称で発足、平成9年現名称にした。

会の特色：町内活動に協力的な会員が多数を占め、運営も順調に推移している。

活動の歩み：生活道路の整備、街灯の増設、防災活動の推進など環境の改善を図る一方、盆踊り、排雪は恒例化し、設立より球技が盛ん。少年野球、少女ソフト、ママさんソフト、成人野球と活動したが現在は成人野球のみ、子供会の活動は地道に続けられ札幌市長表彰も2回受賞している。

今後の目標：執行部の強化のため、女性副会長を誕生させ、高齢化(中央東友会)、少子化(ジャンボくりの実子供会)の支えによりきめ細かさを図るとともに会員参加の出来るグランドゴルフ・ジングスカンの会を継続し、会員の親睦と融和をすすめたい。



しんえい西自治会

会長 古部 貞春
 副会長 関口 栄吉
 〃 田中 末義
 〃 東峰 春夫

しんえい西自治会は、緑町、高台に隣接した町内会で、今迄清田町連に加盟していましたが、通学区(緑小学校)の関係などから住民の強い希望で、この程清田中央町連に加盟しました。

私達の自治会は、平成3年厚別川沿いの西側に「フォーレストパーク真栄」として宅地造成された地域です。当初は真栄第4町内会員でしたが、平成5年7月、全戸112戸の総意で同町内より分離独立し「しんえい西自治会」を設立、平成6年には自治会館を建設、現在会員227戸です。

私達自治会創立以来「明るく綺麗で、潤いのある街づくり」を合言葉に、植花、植樹、焼肉パーティーはじめ未来を背負う子供さんのために、七夕祭、花火大会、絵画コンクール等を、また、平成8年に老人会「はるにれ会」を設立、その方々による2小公園や歩道花壇の草とり、週一度の道路や路肩、空地の清掃等で、平成10年市長様から美化運動で表彰を、また今年、しだれ桜の植樹で感謝状をいただきました。

このたびは、冒頭のとおり皆様の町連に入れていただきました。私達まだまだ若い自治会です。どうか皆様の温いご支援とご指導をいただき、この地区の一層の発展に努力致しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

こんなことやっています

町連専門部

	部長	出身町内会	就任	前任者
体育部	山下 紀雄	第2町内会	11年5月	山田 修
女性部	森 美代子	緑町内会	2年4月	
交通安全対策部	加藤 孟	元町町内会	2年4月	
環境衛生部	山田幸四郎	元町町内会	12年5月	菅野 常明
福祉厚生部	山越 幸民	南町町内会	8年5月	加賀谷正光
防災防犯部	雨宮 稔	中央町内会	2年4月	
青少年育成部	加賀谷正光	高台町内会	8年5月	溝口 国高



体育部

部長 山下 紀雄
 副部長 渡邊 貞俊
 副部長 南部 正幸

体育部は、社会体育の奨励、レクリエーション行事、その他体育の推進を目的とした専門部ですが、各種行事には、常に裏で支えてくださる女性部、青少年育成委員会の方々のご協力によって、各種行事を進めてまいりました。

この10年間を振り返れば、少年野球大会、少女ソフトボール大会、女性ソフトボール大会、壮年野球大会等が豊平地区大会で優勝という、清田中央ここにありという輝かしい名と実績を残しましたが、時代の流れにより、平成7年を最後に壮年野球大会以外実施できない状況に追い込まれました。

10月10日体育の日に行っている、歩け歩け運動は、清田緑小学校から白旗山を経てふれあいの森までの10キロメートルを歩きますが、過去2回大雨にあいながらも中止することなく実施しており、参加者も年々増加し、4歳から80歳までの幅広い層まで拡大し実施しています。

平成10年10月に清田中央地区に初のパークゴルフ場がオープンし体育部の新しい事業となりました。

現在、体育部の事業は、6月にゲートボール大会、7月成人野球大会、8月壮年野球大会、9月パークゴルフ大会、10月歩く運動と年5回の行事を実施しておりますので、地域行事として、一人でも多くの方が参加されることを望みます。



女性部

部長 森 美代子
 副部長 岡田 文江
 副部長 菊地トシ子

平成2年に清田中央町内会連合会が誕生し、誕生と同時に女性部長という話があり驚きととまどいの中、清田中央連絡所の初代土屋所長、各町内会の女性部長さんに助けられながら、船出したことが昨日のように思い出されます。

女性部の年間事業内容

- 一、女性部総会・交通安全母の会総会
 - 二、熱響サマー北海道おどり（札幌駅前）
 - 三、交通安全街頭啓発等参加（清田区内）
 - 四、清田区民まつり
 - 五、一円玉募金
 - 六、町連女性部会
 - 七、新一年生マスケット造り・配布
 - 八、その他（各部への事業協力・参加）
- そして、年度末最後の事業として、昨年から始まりました、福祉のまち推進センターからの配食サービスでは72名の方に届けられました。

後日、お礼の手紙が寄せられ、次回も頑張ろうと逆に勇気づけられております。

今後も、各種事業に取組んでいくつもりでおりますので、引続き町連女性部をよろしくお願いいたします。

交通安全対策部



部長 加藤 猛
副部長 赤坂 稔
副部長 森 美代子
副部長 安田 由成
副部長 福田 雄二

交通安全対策部を長年担当して、変わらないのが交通事故です。

交通事故防止の实践活动として、各期の交通安全運動へ町連対策部員、交通指導員他関係者の協力を得て、交通安全運動を進めてきました。

町連が発足してまもなく、各団体の支援を受け「交通少年団」を結成、少年自らの实践活动を通じ、友愛精神と交通安全意識を深め、正しい交通マナーの修得と交通安全に寄与することを目的に、少年団活動を継続しております。

また、清田南小学校・緑小学校の協力により、北海道子ども自転車競技大会等に参加し、正しい自転車の乗り方、他人に迷惑をかけない交通安全の基本、交通規則の遵守、運転技術等の教育に努めているところです。

現在の車社会においては、子どものころから交通関係の知識を知り、それを育てていくのが、交通安全に取組む我々の役割と考え活動を行っております。

昭和57年から交通安全パレードを実施、現在も継続中であり、今後も地域住民と一体となり、交通安全運動を推進し、清田中央地区町内会連合会の発展に、対策部員一同努力してまいります。

◎ 交通安全は家庭から！

環境衛生部



部長 山田幸四郎
副部長 赤堀 孝
副部長 太田与次郎

札幌市には早くから衛生協力会連合会があつて、その後各区にクリーンさつぽろ推進協議会が結成されました。清田中央地区町内会連合会設立当時に各々が組織されるなかで保健衛生部として健康づくり講演会等を実施して参りました。全市的な衛生協力会関係の組織とクリーンさつぽろ推進協議会関係の組織が各区に存在するところから、町連の保健衛生部には事業内容の類似した関係部員がいたのです。清田中央地区町連の部会では保健衛生部長・クリーンさつぽろ推進員合同会議として行われてきました。平成9年度になって今までの衛生協力会は地域の生活環境の改善や公衆衛生の向上に大きな役割を果たし、また事業のマンネリ化と類似団体としてのクリーンさつぽろ推進協議会との事業の重複もあるとの理由からこの際平成10年度の統合を目標とし、平成9年度はその準備期間と位置づけて統合検討委員会を設置したのです。平成10年度から従来の両団体が一本化されてクリーンさつぽろ衛生推進協議会が各区に結成された訳です。全市的なものとして、各区のクリーンさつぽろ衛生推進協議会会長によって構成されますクリーンさつぽろ衛生推進連絡協議会がつくられ、清田中央地区町連においてもそれまでの保健衛生部の名称を現在の環境衛生部と改正致しました。

福祉厚生部



部長 山越 幸民
副部長 奥山 育男
副部長 佐々木三男

老人・母子家庭・身体障害者等の福祉に関する専門部です。単町においては、老人クラブがあり独自に活動をしておりませんが、連町としては、毎年77歳喜寿の方、85歳以上の方を総合会館において、敬老会をおこなっております。

年々高齢者が増加してきており、会場等の関係もあり、今後別の事も考えなければならぬと思っております。

昨年、地域内に老人福祉センターが開設され、センターの中に清田中央福祉の街推進センターが発足しました。

各単町から二名の推進委員により、6月8日よりセンターで、福祉の街推進委員、民生児童委員による福祉相談を受付けておりますので、高齢者の方々もお気軽にお寄り下さい。

3月19日、70歳以上の独居老人を対象に、配食サービスを行いました。これには、町連女性部、民生児童委員の協力により行いましたが、配食サービスを受けられた独居老人の方に大変喜ばれ、お礼の電話、ファックスをそれぞれいただきました。

単町においても、福祉の街推進委員会が組織されつつありますが、高齢者、身体障害者、独居老人家庭等の除雪の手伝い、買い物の手伝い、安否の確認などこのような家庭に対し近隣の方々の協力を得ながら、活動を継続していきます。

防災・防犯部



部長 雨宮 稔
副部長 佐々木正幸
副部長 高野不二夫
副部長 荒井 勲

平成2年、連合町内会発足と同時に16町内会の防災防犯部長で組織された部です。地域の安全を守るために、関係機関が行う行事に協力し、防犯パレードや防災訓練等に参加しております。

しかし、災害は忘れたころにやってくると言います。常に防災防犯意識の向上のため、単町独自の自主防災組織づくりを行っておりますが、今後未加入の町内会の参加を検討していただきたいと思っております。

防災会議においては、地域の安全は地域で守れと、警察当局より問題提起されますが、それに応えるにはあまりにも重たいと思いますが、各町内の防災防犯部長による、各町内会盆踊り大会や、夏祭り等において自発的にパトロール等を行っております。

平成9年に発足した、児童生徒事故防止合同対策協議会と連動して、変質者による事故未然防止の運動を行っております。具体的には、平成11年には子ども110番の家の設置に協力し、看板を各戸に掲示していただき、子供達の避難場所として家を開放しております。

地域監視員として地域の安全確保のために、活動を行っておりますので、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。



青少年育成部

部長 加賀谷正光
 副部長 竹内 博美
 副部長 菅野 修

文字通り青少年の健全育成を目的とした専門部ですが、単町にあつては、体育又は子供会を担当する形で青少年育成活動にかかわるところが多く、町連育成部として、どの様にして意志を統一し、全体の足並みをそろえるかが町連発足当初からの課題でした。

たまたま平成5年、地域内にテレホンルームが出現、町連育成部として、国際大学に象徴される文教地区にはふさわしくない存在と判断、育成委員会と協力して撤去運動を展開、半年後に撤去させる事に成功するという事がありました。

これを契機に、健全育成にかかわる団体の力を結集すべきという声が高まり、翌6年、町連育成部、育成委員会、民生児童委員協議会、4校連で「青少年を育む会」を結成、以後「育む会」を中心に、地域内の各種イベントや夏休み中のパトロール、さらには愛の声かけ「見守る店」への加入と再確認運動を実施する様になりました。

平成9年には、この「育む会」を母体に児童・生徒を事故から守る合同対策協議会」が結成され、多発中であつた児童の誘拐、痴漢の出現に未然防止の運動を展開、現在154軒の協力で「こども110番の家」を設置、各単町の育成部員、防犯部員がペアで地域の監視活動を行なっております。

清田通り

早期開通 促進対策

委員会

委員長 杉本 勝昭
 副委員長 西部 慎三
 副委員長 大藤 喜一
 事務局長 山下 紀雄

この委員会は町連内部の委員会ですが、住民の強い要望で今年の活動が期待されております。

町連創立以来10年、進展を見なかつた懸案の「清田通り開通促進」については、平成10年に対策委員会を設置、札幌市長宛に要望書を提出（11年）するなどの活動を行つてきたが、学校に対する規制緩和（大学設置基準）や、国際大学の人事の移動など情勢が大きく変化しており、町連としてこの変化を追い風に問題解決に当たるべく、先の定期総会で委員会規程を改正、町連会長が対策委員長として先頭に立ち、積極的な活動を展開する事になった。

対策委員会

対策委員会	備 考
杉本 勝昭	町 連 会 長
山下 紀雄	第 二 町 内 会
横山 武士	第 三 町 内 会
橋本 健	第 四 町 内 会
菅野 良三	自 治 会
中川 一政	南 中 央 町 内 会
藤井 充美	緑 町 内 会
堀田 栄一	南 町 町 内 会
雨宮 稔	中 央 町 内 会
竹野 紀昭	北 町 町 内 会
細田 禮三	東 町 町 内 会
杉田 伸正	高 台 町 内 会
渡辺 民男	元 町 町 内 会
安田 由成	西 町 町 内 会
谷川 基	南 若 葉 会
曾我 利男	ファミリータウン
西部 慎三	第 五 町 内 会
大藤 喜一	メイユール 菟 寿
古部 貞春	しんえい 西自治

◎ 紹介します

Ⅱ町連を中心とし、町連をとり巻く組織Ⅱ

主な外部団体

運動の輪を広く、大きく

団 体 名	会 長	参加団体(者)	設立年
清田中央地区老人クラブ協議会	杉田 仲正	14老人クラブ	2年
清田中央地区子供会連絡会	林 恭子	9 子 供 会	10年
清田中央地区青少年を育む会	加賀谷正光	4 団 体	5年
清田中央地区児童生徒事故防止合同対策協議会	杉本 勝昭	11 団 体	9年
清田中央地区パークゴルフ同好会	五十嵐 渉	4 3 0 名	10年

清田中央
地 区

老人クラブ協議会

年々増える会員 (903名)

平成2年 7クラブ
9年 12クラブ
12年 14クラブ



会長
杉田 伸正

平成2年9月に7クラブで結成した協議会、高齢化の世相を反映して年々会員が増加、平成5年には8クラブ、6年には10クラブ、9年には12クラブとなり、今年12年には14クラブ(会員数903名)となる。

協議会の主な活動は

▲ゲートボール大会 8〜10チーム

▲麻雀大会 約50名が参加

▲囲碁大会 約30名が参加

平成11年からはパークゴルフ大会が新規事業として加わり、この大会は、各クラブから10名の枠で実施される事になっており、大変期待されている。

又、これまで新年交礼会と演芸大会とを併せて行ってきたが、平成11年からは「演芸大会」をきり離し、各クラブのサークル活動の成果発表の場として充実を図り実施したところ、大変好評で、今後も「演芸大会」は「演芸大会」として行う事になった。

その他、清田区労連、札幌市労連の事業、活動にも参加、他組織との交流、連繋の強化に努めている。

(上の写真は昨年の演芸大会の一コマ)

	平成2年～5年	平成6年～9年	平成10年	平成11年～
会長	春木 正明	中橋 清	中橋 清	杉田 伸正
副会長	中橋 清	中内 春松	中内 春松	及川 巳佐男
事務担当	守野 道順	中泉 政雄	中杉 田仲正	古川 栄治
理事	諏訪 正凱	諏訪 正凱	柴田 義夫	柴田 義夫
会計担当	及川 巳佐男	及川 巳佐男	及川 巳佐男	松村 明

清田中央
地 区

子供会連絡会

少子化の中で 子供の個性を伸ばし自立を!!



合同モチつき大会は子供たちの人気行事



会長
林 恭子

連絡会 役員名

	名 前	町内会	校 区
会長	林 恭子	東 町	南小学校
副会長	広 長 洋子	中 央	〃
〃	鈴 木 知 恵	元 町	緑小学校
〃	澤 野 静 子	南 中 央	〃
幹事長	澤 野 静 子	〃	〃

道な活動を続けていま
あい、励ましながら地
し、共通の悩みを話し
10年「連絡会」を結成
や交流を目的に、平成
9子供会は、情報交換
現在清田中央地区内
おります。

子どもたちを取り巻くきびしい環境の中で、しかも週休2
日制実施を目前にして、子供会の存在そのものが見直されて
おります。

平成12年度 子ども会の現状

(平成12年6月19日現在)

	町内会	子ども会名	会 員 数	子ども会会長	育成者代表	住 所	設 立
東 連 協	清田第3	星 空	子供 育成				昭和62
	清田自治会	すずかけ	41 16	坂本 華恵⑤	山中 勝之 885-3297	清田4条2丁目10-3-201	58
南 連 協	清田東町	ジャンボ くりの実	33 6	鈴木 真未⑤	林 恭子 883-8274	清田5条3丁目8-16	51
	清田西町	そよかぜ	50 12	佐藤 敏太⑥	清水 孝子 885-0062	清田8条2丁目7-23	48
	清田南中央	竹 の 子	67 8	澤野 純哉⑥	澤野 静子 883-2624	清田8条3丁目25-20	50
	清田南町	しらかば	35 23	西野 幸雄⑥	西田有里子 885-2365	清田9条3丁目12-3	47
	清田高台	清田太陽	57 11	成沢香代子⑥	浅利 真澄 881-4234	清田7条4丁目3-51	49
	清田閉地元町	つくしんぼ	111 13	東浦 巧⑥	阿久津幸恵 885-6167	清田7条1丁目7-9	58
	清田中央	わんぱく	31 10	栗原 寛明	山倉ゆかり 882-6659	清田6条2丁目21-6	49
	清田緑町	みどり	90 8	内海 沙織	東理 祥子 884-4147	清田7条3丁目26-13	平成12

青少年育成
非行化防止

地域ぐるみ活動の原点・原動力

地域の子供を
はぐくむ会

清田中央地区
町内会連合会
青少年育成部

町連傘下の16町内会の青少年育成部長（又は兼任の子供会育成者代表）
活動内容：単町での青少年育成活動（含子供会）部門を担当

清田中央地区
青少年育成委員会

札幌市の選任をうけた委員一定員17名で構成（任期3年）
活動内容：①青少年の健全育成のための啓発活動、学習会
②青少年を対象にしたスポーツ、文化事業
③子供会、その他の青少年団体の結成促進及び活動に対する協力
④青少年に有害な環境の把握及び排除の活動
⑤非行防止に関する活動



会長
加賀谷正光

清田中央地区
民生委員・
児童委員協議会

厚生省並びに札幌市より委嘱の委員一定員16名、うち主任児童委員1名で構成（任期3年）
活動内容：地域内での民生事業及び児童の福祉、保護についての事業を担当

清田中学校地区関係
小中学校連絡協議会
（略称 四校連）

清田中学校、清田小学校、清田南小学校、清田緑小学校
活動内容：①生徒の健全育成並びに小学校相互の情報交換
②非行の早期発見、早期対策
③地区内の巡視、補導を計画的に実施
④広報活動
⑤その他研修、講演会開催など

そ の 他

防犯協会、少年補導員協議会、スポーツ団体

会長	加賀谷正光	青少年育成部 青少年育成委員
副会長	森 美代子	青少年育成委員
〃	山下 紀雄	青少年育成部
〃	木庭 孝治	4校連会長
〃	三上田鶴子	民生児童委員
幹事長	竹内 博美	青少年育成委員 青少年育成部

平成3年、地域内に「テレホンルーム」が出現、環境的にも、青少年育成上も良くないと、この撤去運動で初めて、町連育成部、市育成委員、PTAが話しあい、力を併せて反対運動を展開、6ヶ月後に撤去に成功。

「育む会」の歴史は古い。

育む会の歩み

以来「青少年育成」という共通の問題を各組織ごとバラバラではなく、力を併せてやろうと「育む会」を結成、地域ぐるみ活動の原動力としての活動を展開している。現在各種イベントのパトロールを実施。

清田中央
地 区

児童生徒事故防止合同対策協議会

誘拐
痴漢

地域ぐるみで子供を守ろう!!



会 長
杉本 勝昭

協議会役員名簿

平成11年10月10日現在

役職名	氏名	電話番号	備考
会 長	杉本 勝昭	882-3025	町 連 会 長
会長代行	加賀谷正光	881-3920	町 連 副 会 長
幹 事 長	加賀谷正光	881-3920	町連青少年育成部
幹事長代行	雨宮 稔	881-0232	町連防災防犯部
幹 事	森 美代子	881-7527	町 連 女 性 部
〃	竹内 博美	881-7428	地区青少年育成委員会
〃	見上多鶴子	881-2650	地 区 民 児 協
〃	溝口 國高	881-2046	少年補導員地区支部
〃	木庭 孝治	882-8313	清田中学校PTA
〃	松田 太	884-1588	清田南小学校PTA
〃	斎藤 健一	885-5311	清田緑小学校PTA
〃	小林 春男	881-0662	清田団地商店街協組
〃	杉田 伸正	882-2822	地区老人クラブ協議会
〃	林 恭子	883-8274	地区子供会連絡会
常任相談役	加賀谷睦夫	881-2034	清 田 中 学 校
〃	藤井 正治	881-1975	清 田 南 小 学 校
〃	筒井 和紀	883-3303	清 田 緑 小 学 校
顧 問	井村 憲二	813-0110	豊平警察署生活安全係
〃	三上 康爾	881-2151	清 田 交 番

平成9年春、神戸でおきた少年による通り魔的殺人事件をきっかけに、各地で子供の誘拐事件が発生、子供を取り巻く環境は「いじめ」問題を含めて大変きびしく、年々劣悪になってきています。

清田中央地区でも、未遂とはいえ、9年5月に3件、7月に1件の幼い子供を対象にした誘拐、痴漢行為が発生、この事からこの様な出来ごとは、もはやよその地区の出来ごとではない。いつこの地区で凶悪事件が発生するかも知れない。これを事前に防止しようではないかと町連育成部で呼びかけ9年8月25日、10組織で合同対策協議会を結成、以後注意喚起のカーブンの設置(16ヶ所)、宣伝カーの活動、こども110番の家開設(165戸)などの活動を続けています。

清田中央
地 区

パークゴルフ同好会



オープン記念大会（上）と男女入賞者

待望のゴルフ場

9年10月3日にオープン!!

＝雨・風の中で記念大会＝



会 長

五十嵐 渉

会 長	五十嵐 渉	第 2 町 内 会
副 会 長	伊藤美知男	西 町 町 内 会
副 会 長	齊藤 清	東 町 町 内 会
事 務 局 長	柴田 義夫	第 3 町 内 会
事 務 局 次 長	山田 修	自 治 会
会 計	高橋 恭	第 3 町 内 会
監 事	古川 栄治	南 中 央 町 内 会
監 事	村上 邦夫	

パークゴルフ愛好者の強い希望のもと、当時清田中央町連の顧問で市議会議員であった菅井市政功労者や、町連役員の方々の積極的な努力と、新生清田区の区長の理解、協力で、平成10年10月、清田配水池の上に、待望の「清田パークゴルフ場」が完成、オープンした。

但し、このパークゴルフ場の使用については、他のゴルフ場とは違い、地域の管理運営団体が責任を持つという条件付きのものであった。

そこで、清田中央町連では愛好者に呼びかけて、ゴルフ場の管理、運営などについての話し合いを行い、先ず町内会ごととに会員の募集を行ったところ、応募者が430名に達したので、9月「清田パークゴルフ同好会」を結成、自主管理運営を原則として発足、同月仮オープン、10月3日、開設記念大会を行なって一旦閉鎖、翌11年5月正式にオープンした。

同好会では全会員未経験の中で芝刈り、肥料散布、散水、草とり等をやって1年を過ぎたが、翌12年5月定期総会を開催、事業計画、予算、役員の選出を行なった。

同好会では責任を持って管理運営にあたるが、使用者もルール、マナーを守り、全員が快適なゲームを楽しめるよう協力を呼びかけている。

お陰様で10周年

座 談 会

PART 2

町連、今後いかにあるべきか



座 談 会 出 席 者

— (敬称略…順不同) —

金子正一
雨宮敏勝
臼井文江
岡田澤勝
黒山下紀
山賀谷正
加賀間慎
本間

町連副会長
中央町内会長
東町町内会長
女性部副部長
第4町内会長
第2町内会長
町連副会長
ファミリータウン町内会

(森部長代理)
(テープ記録)
(業務のため欠席)
(司 会)
(写 真)

司 会 皆さんご苦労さまです。せっかくのお休みなのにこの座談会のためお出で戴き有難うございます。

ご承知のように10年誌のための座談会、一部と二部に分けて、先程一部を終わりました。一部の内容は、一言で言いますと、清田町連から分離独立、清田中央町連をつくり出す時の苦労話、会館建設、連絡所設置などを中心とした内容でしたが、これから行います二部は「これからの町連、どうあるべきか」、どうも大上段に構えた感じの標題ですが、一つ気楽に忌憚のない意見を述べて下さい。

尚、本日出席予定だった森女性部長が入院のため、副部長の岡田さんにご出席戴きましたし、又一部に引き続きファミリータウンの本間さんには、特別、写真をお願いしてお出で戴きました。

只第2町内会長の山下さんは、仕事の都合でどうしても出席できないという事でした。

司 会 それでは早速始めたいと思います。

最初に、皆さんご存知の事と思いますが、町連の定期総会今年で第11回目になりますが、いつも今年の事業計画としてでてくるのが「清田通りの開通」と「地下鉄東豊線の延長」です。これが10年来続けられています。つまり、これからの課題でもあります。

このへんから始めたいと思います。

金子 今の清田通りの問題、これは町連創立当時からの問題なんです。いろいろあって延び延びにはなっている

けど、今年から第5町内会から山側、7条1丁目、あれ

も本格的に開発が始まっているし、9条3丁目、南町の奥からパークゴルフ場の更に奥の方も開発にかかっているしね、それらを考えれば、この清田通りっていうやつは、早急に取組んでいかないとね。

臼 井 本当にその通りだよ。今現在、幹線といえば3号

線だけ、今でさえ渋滞なのに、奥の開発が進めば益々大変だよ。



清田通りが出来れば渋滞がかなり緩和されるし、もう一つ、西町の奥の方、清雲橋

の上の方に何とか橋が出来れば、清田団地ぐるっと廻れるような、そんな風にならないものですかね。

金子 その事という、3年くらい前、桐生会長と私と杉

本副会長の3会長の連名で、正式に市に陳情書を出したワケ。それは8条2丁目（西町）の奥のゴルフの打ちっぱなし、それと北海学園グラウンドの境目、9条1丁目からね、9条3丁目に向かって、幹線道路を1本造って欲しいというもの、その目的は今言われるようにバスの巡回、巡回バスをやる事によって、この清田団地の袋、行き止まりの状態が解決されるだろう、という事で陳情書を出したんです。

雨 宮 清雲橋が出来た時ね、もうその話は出ていて、ここ

に橋を造ろう、そういう運動をしようかね、その第一段階で、三役で行ったんでしょ。

臼 井 ああ、なる程ね。そうすれば9条3丁目の方からずっ

と行って北海学園のグラウンドを抜けて、清田通りに抜
けられるという事だね。

雨 宮 清田団地の袋小路の解消という事でいろいろ考えら
れているんだけど、その一つに、区役所と中央バスの考
えが一致したという事で、今年4月から3ヶ月間、清田
中央と区役所の間2路線で巡回バスを試験的に運転する
事になったそうです。

金 子 そうなんです。2系統があつてね、一つは神愛園を
基点にしてダイエー前に行き、36号線を通つてね、区役
所へ行き、そこから旧道を通つて戻るというコース。も
う一本は、9条3丁目、あれから中学校の前を通つて区
役所へ行って、帰りは真栄の滝野道路を通つて戻つてく
る。そういう説明を受けたんだけど、私らの考えではま
だまだ不十分なんです。公共施設はまだ体育館もある
し、そのほかにもいろいろあるんで、そういう所も廻つ
て欲しいなあ、という要望もあるんだけど、それは言つ
てさえもらつておけば、試験の結果考えましよう、そん
な事になつていゝんです。

司 会 区民センターね、あそこ利用する人が一番不便なん
だねー、清田小学校の前までで、それからは歩いて行き
なさいって。

白 井 あそこから大分あるもねー。
金 子 だからね、そういう風に形そのものが尻きれトシボ
なんだよ。吾々に言わせれば不十分なんだよ。

司 会 中央バスにしても、どのくらい利用者がいるのか、

そのへんがはつきりつかめないの——
金 子 これもまあ、袋小路解消の第一歩だからね。まあ、
こんな事をだんだん充実しながら、本当の味の巡回バ
スまで持つていくのが吾々の考えだな、と言う事になつ
ているわね。

司 会 そこで又、話を清田通りに移したい。

黒 澤 清田通りっていうのが、私が今の所に土地を買つた



時に業者が、もうすぐそこに道路が通ると
いうふれこみだった。

バスが通るからバス停が近くていいよ。
ああそうかいと言って買ったのが16年前な
んですよ。

この道路の問題、国際大学との関係で進展しないので
すが、今、大学はですね、高等教育について、文部省が
小学生からおじいちゃん、おばあちゃんまで大学に呼べ
るようなものであつて欲しいという方針がでているんで
すよ。うちの札大は西岡町連のど真ん中にあるんですが、
西岡の町連とタイアップしているんな事を一緒にやつて
います。

ポパイ会議というネットワークがあつてその街づくり
に参加して、その行事に学生も参加する。大学祭など大
学の行事には地域の方にも参加してもらっています。

防災訓練もグラウンドをどうぞ使つて下さい。早朝使
わないで空いている野球場、サッカーグラウンド、パー
クゴルフ場もどうぞ、平成12年度から図書館も使い易い

日曜日に開放して、ご自由にどうぞというような事で地域に施設を積極的に開放しています。

司会 そういう関係が必要なんだよねえ。ここの国際大学

とうちの町連との関係が10年前にもしもそうであったら、今頃道路でゴチャゴチャする事もなかっただろうね。

大学側では、行政も住民も大学に対して非協力的だと判断している。というのは、どこでも大学誘致というと、官民あげていろいろな形で応援してくれる、ところがここではそれが一つもない。大学を4年制にする、その時だって全然なし。そんなところから非協力和判断している。だから道路の事で協力をお願いに行っても、市の幹部に対して、町連の役員に対しても、会ってもくれないし、勿論話を聞こうともしない、という事なんです。

黒澤 あそこ、局長は当時の人と代わっているんですよ。

今の局長は話しあいには応ずるよって言うてる、だけれど、誰も話しかけていない、何も言っつてこないからどうしようもないという事なんで、何かアクションを起こせば話し合いのつてくれると思います。

司会 町連にはそのための対策特別委員会があるんですよ。



よ。清田通り早期開通促進対策委員会というものが正規の名称ですが、先程述べたような事情でここ数年活発に動いていませんでした。この問題に取り組み組織は出来て

いるんです。

雨宮 各単町から1人ずつ代表が出ているんです。

黒澤 今までの経緯で、道路を通す代わり代替地を手当し

て欲しいとか、何とかなってますよね。大学設置基準では今までは一つの大学で、このくらいの規模ならこれくらいの校地が必要というのが、一昨年基準が緩和されて、必要校地面積が従来の1/2になったので、代替地がなくても基準を満たすはずですよ。

雨宮 先程その話がでて、今がチャンスでないかという話

も出たんですよ。



その昔10年前には、担当した人のちょっとした言葉でこじれた事もありましたが、今は大学側から各町内会長宛に、いろいろな催しの案内が2・3年前からきています。

又、町連としても町内会役員の1日研修の時に、大学の中を見学させてもらったんだが、こんな風に情勢は10年前とは大分変わってきている事は事実ですよ。

黒澤 それから、局長も代わっていますから。吾々いつも

会っつていて、たまには町連の話を聞いてよって言うのと、何も言っつてこないから聞きようがないでしょうって言うんですよ。

雨宮 結局ね、1回玄関払いをくっちゃったもんだから一

司会 市役所も2・3回申しこんだが、会う必要はありませんと断られたり、という話もあったりしてね。

黒澤 今なら、ある程度アプローチすれば、市は市で、こちらから行動を起こせば話のつてくれるんじゃないかと思えますよ。

只、有楽町内会とあまりうまくいっていないような気がするんですよ。

雨宮 もともとね。同じ町内会の敷地にあるもんだから、

黒澤 だから、それが全部イコールになってしまう。

雨宮 有楽町内会としては、清田通りを通してしまおうと交通量が増える。バスなんか通るようになったらかなわんぞという人もいたりしてね。

白井 確かに大学を通りぬけて、まっすぐ第5町内会に行けるようになれば交通量は増えるよね。

でも第5町内会を含めて、更にその奥が開発されるという事になれば、道路が出来る事によって町の発展が望まれる事になる訳ですよ。

黒澤 大学の地下に道路という事になると、羊ヶ丘通りからレベルを次第に下げてくる。すると両側の家が道路より高くなってくる、そうすると厭なわけでしょう。

岡田 ああ、そういう事なんだ。

白井 ローソンの1つ北側に手押し信号があるよね、あれを真直ぐつきぬける事は出来ないのかな。

金子 農業試験場の土地にひっかかる。

黒澤 そうであれば、国の土地だからそこを通した方が良いのだが、つきぬけた所が西岡で、西岡はトンボがいなくなるとか、蛙がいなくなるとかで、多分ウンと言わないと思いますよ。

司会 いろいろむずかしい問題があるにしても、地域の発展に絶対必要な道路なんです。だから10年間もやってき

たんです。今情勢が良い方に変わってきているので、何とか良い方法考えてやっていく時ですよ。

金子 今言えるのは、町連としてさ、町連としてね。市の

本当の考えはどうなんだ。そんな事で対策委員会、早急に有効な動きを始めるべきだと思っね。



第4、第5の町内会が中心になってやる

のは良いけど、何ととっても町連が先頭に立ってだね、情勢の変化を把握して積極的に行動すべきだと思うね。

司会 そうですね。清田通りについては、大学側との交流を深め乍らお互い理解しあう中で、町連を先頭にして解決にむけて努力する、まあそんな事だと思います。

続いて地下鉄ですが、ご承知の様に清田区5町連を中心に、豊平区の町連を含めた「期成会」があつて、昨年春まで、桐生さんが会長をやっていたんですが、昨年の総会で任期が終わり、次期会長をどうするかを話しあつたのですが、最終的に杉本さんにやってもらうという事になったんです。という事は、清田中央が事務局を担当するということなんです。

この事がきまっていますね、新聞に地下鉄延長について3路線の申請が出ていますが、その中で東豊線の延長が、採算性の面から一番望ましいという審議会の答申が出されたという報道がなされた。これは「期成会」にとつて大変な追い風であり、大変良い状況が生まれてきたという感じですよ。

町連が出来て10年ですが、当初から大きな目標としてきた「清田通り開通」と「地下鉄東豊線の延長」問題に明るい材料がでてきて、どちらも時間のかかる問題ですが、この時期を逃さず、今年は強力に推進するとき、そんな風に思います。

司 会 それとですね。昨年の町連の総会で出された新しい運動方針に「福祉のまちづくり」があるんです。

これは札幌市では大分前から推進している運動ですが昨年4月、清田老人福祉センターが開設され、その中に清田中央町連の「福祉のまちづくり」事務所がおかれ、町連としての本格的な活動が始められたのですが、金子さんが、責任者、街づくり推進委員会の委員長として動き始めた訳ですが――。

金子 町連の中で組織としては前から出来ていたんですけど4月にセンターが出来、その中に委員会の事務所も出来たという事で、まあ、この事務所を利用して、民生委員と、各単町の推進委員が、当番制で「心配ごと相談」を始めたんだよ。だけど本当の意味はね、各単町ごとに推進委員会をつくってさ、自分の町内の事は自分たちでやるんだという事、それはまあ、70歳以上の独り暮らしの人や身体障害者が対象、これが基本なんだけどね。

去年からやっているんだけど、今のところ委員会が出来たのは、17町会中7町内会さ、まだ出来ていないところはつくるようお願いして、出来たところで取りあえずやるうという事で、女性部に手伝ってもらって70歳以上

の独り暮らしの人に弁当を届けたのです。

今後、除雪の問題なども出てくると思うけど、やはりいろんなボランティアの人の手伝いが必要になってくると思うよ。

雨 宮 除雪の問題なんだけど、年寄りって、まあ自分もそうなんだけど仲々心を開かないんだよ、プライバシーの問題もあるけど、余計なことしないでくれってね、それにぶつかるって嫌になるんだよ。

金子 うちの町内会の形を見るとね、70歳以上の独り暮らしが8人いてね、そのうちの5人が老人クラブの会員で友だちつきあいをしているから、たまに会いに来ないかどうか。老人クラブに入らないで家に閉じこもった人はなかなか、わからなくてね。

白 井 除雪の問題でもね、独り暮らしの人に声をかけてみたら、人の世話にはなりたくない、人材センターに頼んでやってもらってる、中にはそういう人もいるんだよ。

うちでは、厚生部員が1班から14班までを3つに分けて、夫々担当をきめて7人の独り暮らしの人に話をする体制をつくったんだが、やはり心を開かないというか、人に話したくないというのか、プライドやプライバシーの問題がからんで仲々むずかしいね。

岡 田 やっぱり、全く知らない人が当たるより、例えばおたくのとこだったらアパートがあつてさ、あそこに結構独り暮らしのお年寄りいるんでしょう。アパートの近く



にさ、そのお年寄りと仲良くしている人がいるっしょ。(白井君がいる) そういう人にうまくちよつとね。その方が話し易いよね。全く知らない民生委員だからとか、町内の役員だからとかという人が行くよりも、もつともつとね。うまく。

白 井 そうだね。お互い話が出来る人が必ずいるはずだから、ね、その人から話を持って行って、そして納得してもらおう。そうしないと、やっぱりね。

雨 宮 うちね。古いせいもあるのか、隣近所の人がやるんだよね。

岡 田 うちの方も、近所の人結構やってるもね。

黒 澤 うちらも60歳以上が140人ちよつと、そのうち70歳以上が62人。只独り暮らしというのは1人もいないんです。だけど10年後の事を考え、今のうちにつくるべきだという事で、昨年8月「福祉のまちづくり」の推進委員会をつくったのです。

次に「自主防災組織」をちゃんとしていこう。そして支えあう組織をだんだん大きくしていこうと「災害と福祉」の2つの目標をもって、今やっています。

金 子 去年の秋にね、各町連の委員長や代表が集まってね、福祉のまち推進センター委員会の協議会なんだけど、1回目なんだけど、今月2回目を持つ事になっていて、まあ、そういう会議でいろいろな方針が出されると思うんですよ。それに基づいて、各町連の推進委員会が動く。

その指示によって各単町の委員会もまた動く、まあこんなことになっていくと思うんですよ。

司 会 昨年10月だったか、HBCテレビに北野とうちの活動が放映されたんだけど、うちは児童生徒の事故防止の事だったんだが、北野は「福祉のまち推進委員会」の活動を中心にしたものだったんですが、感心したのは、その活動に刺激されたのか、中学生グループが自主的に独り暮らしの老人家庭の除雪をしていた点です。大人がやるのを見て子供がやる、やっぱり大人が何ごとにつけても手本なんだ、そんな風を感じたんです。

黒 澤 お年寄りの次は子供ですね。

2年後にですね、学校も週5日制になりますよね。毎週土曜日が休日となる。そうすると、その子供たちをどうやって地域とつなげるか、というのが今度問題になってくると思います。

司 会 私町連の青少年育成部長を兼任していて、いつも思うんです。

今少子化社会でしょう。幸いうちの町連には9つの子供会がある。世話をしている人は一生懸命ですよ。

子供会のない町内会長さんの話を聞くとときまっとう言うんです。子供会はないけど、キャンプも、ラジオ体操も、うちの育成部や体育部でやってくれてるからいいんだ、と。その度に私は思うんです。この会長さんは目的と手段をゴツチャにしているんじゃないのか、と。

大事な事は、子供たちが自分たちでラジオ体操をやる

うときめて実行する。キャンプをやるうときめて自分たちで、手伝いをしてもらいながらも実行する。何かを自分できめて実行する、これが目的です。その事によって責任を背負い、責任を果たす中で何かを体得する。キャンプ、ラジオ体操は手段だと思ふのです。大人が準備をした活動は、しないよりは確かに良い訳ですが、子供たちが苦勞しながら自主的に行つた活動に比べると大きな違いがあると思ふんです。北野の中学生が、大人のボランティア活動を見ならつて、自発的に独り暮らしの老人

家庭の除雪に汗を流したのを見てつくづく思ひます。

雨宮 うちの子供会もね、6年生卒業したら、まあ子供会のきまりもあるんだろうけど、中学に行つても手伝える人は手伝つて下さいと言つても、親が許さないね。

司会 そうなんです。6年生が卒業すると、世話人だった親も、私も卒業ですよつて喜んでます。

黒澤 この地域には公園が結構ありますよね。夏は大人も子供も結構利用しているけど、冬も歩くスキーなどのコースをつくつておけば子供からお年寄りまで運動が出来ると思ふし、町連でその点考えれば子供たちが変わつてくるのではないか、と思ふんです。

司会 子供つて正直ですからね。興味のあることや面白いことには進んで参加するけど、そうでないと参加しませんから、何が興味ある事なのか調べて見る必要がありますよね。

昨年の末、子ども餅つき大会をやつたんです。すごく

集まりましたね。

雨宮 餅つきというのは白ね、それが餅つきなんだけど、違ふんだ、機械持つて来てやつてる。

司会 白1つだけで、あと機械5台ぐらいでやつたんだけど、ついたのを今度は丸める。大人が交替で手伝つてね。それを見ようまねようで子供たちがやる。ここが一番大事なこと、いいことだと私は思つてます。

白井 うちも子供会に入つては思つてますが、とても評判が良かったです。

司会 大体時間が参りました。

本日の座談会の主題は、これからの町連はどうあるべきか、などと大上段に振りかぶつたような主題でしたが、やはり10年来の懸案だった「清田通りの開通」と「地下鉄延長問題」それに、新たに「福祉のまち推進委員会」が加わり、更にこれと関係の深い老人問題、が熱心に話しあわれ、大変有意義な座談会だったと思ひます。

最後に子供の問題もいろいろ出ましたが、紙面の都合で大半省略せざるを得なかつた事は大変残念でしたが、10年誌編集というめつたにない機会を、2度の座談会で今後の町連に大いに役立つ内容で生かす事が出来た事に對し、出席の皆様からお礼申し上げます。

この座談会は、二部構成座談会のPART2「町連今後いかにあるべきか」を主題にして行われたものです。

清田中央地区町内会連合会 備品一覧表

番 号	品 名	数 量
1	テ ン ト	2 張
2	印 章 類	1 式
3	町 連 会 旗	3 本
4	優 勝 旗	2 本
5	パレード用伸縮金属ポール	3 本
6	交通少年団ベレー帽、腕章、マフラー、帽子(50)	55揃
7	交通少年団ジャンパー	45着
8	交 通 少 年 団 旗	2 本
9	浴 衣、 帯	40組
10	草 履	20足
11	ハンドマイク	1 台
12	体育部行事用役員用帽子	25個
13	町連行事用ジャンパー	50着



前列右から 黒澤 雨宮 加賀谷 伊藤
後列左から 本間 竹内 山下の各編集委員

編集を終わって

編集委員長 加賀谷 正光

▲昨年12月26日に第1回の編集委員会、次いで1月25日に第2回委員会、以来、2月に座談会、4月～5月にアンケート調査、整理と編集委員会という具合の6ヶ月でした。

▲斬く編集を終わって印刷所にすべてを渡したのが6月19日、第1回校正が6月27日、第2回が7月3日。7月14日、町連10周年式典直前に配布（すべりこみセーフ）。

▲何しろ全員素人集団での記念誌づくり、不備の点、不満の点多々あるかと思いますが、この半年間の編集委員の努力に免じてご容赦下さい。

▲次に弁解とお詫びです

誌面づくりの最中に各町内会、町連の総会があり、町内会長さんや町連部長さんの代られたところがあります。

そのため町内会紹介や専門部紹介の記事の中で、前会長（部長）さんが文章を書いたのに、紹介記事の写真は新会長（部長）さんになっている点です。この点については記事を書いて戴いた前会長（部長）さんには心よりお詫び申し上げます。

▲いろいろありましたが、もしもこの10年誌、何らかの形で少しでもお役に立てばこんな嬉しい事はありません。